

講義名	簿記原理		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	島田 奈美		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限/後期 木曜日 4時限	授業形態	
履修開始年次	2年生	単位数	4
		備考	

<p>主題と概要</p> <p>この講義では、会計情報の作成技術である商業簿記を学習します。 基礎簿記・日商簿記検定初級で学修する仕訳、元帳への転記をある程度理解している学生を対象とし、日商簿記検定3級程度の内容を学んでいきます。 日商簿記検定の出題範囲を網羅する予定ですが、とくに履修者が困難と感じる学習項目をある程度の時間をかけて丁寧に説明する予定です。</p>
--

到達目標

<p>日本商工会議所主催の簿記検定試験3級全般に相当する内容について理解するとともに、簿記の基本的な仕組みを理解することができるようになる。</p>
--

提出課題

<p>RYUKA Portalのレポート機能を使って課題の出題、回収を行います。</p> <p>注意事項：ご自宅のPCや携帯から、Word、PowerPointの講義資料および課題を閲覧・提出できる環境を整えてください。提出できない場合には単位の習得が困難なので、後期の商業簿記1の履修をお薦めします。</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

<p>課題に対しては、解答を示した上で、間違いの多かった部分について解説を行います。</p>
--

評価の基準

<p>期末テストが実施されなくなったので、課題を提出してください。 課題の提出状況および課題の出来により採点します。</p> <p>注意事項：ご自宅のPCや携帯から、Skype Business、Word、PowerPointによる講義資料および課題を閲覧・提出できる環境を整えてください。科目の性質上、文章のみのレポートで評価することはできません。課題に対する解答のもとに評価します。</p>

履修にあたっての注意・助言他

<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目は成績評価の方法や講義の進め方についての説明をするのでSkypeによる講義を視聴してください。できない場合には、講義連絡に添付された講義資料で確認してください。 ・それ以降の講義もSkypeで実施する予定です。 ・通常講義をしっかり受講したい、または講義資料の閲覧、課題の提出が困難な環境の場合には、後期の商業簿記1（再履修クラス）の履修をお薦めします。
--

<p>教科書</p> <p>合格トレーニング 日商簿記3級 Ver. 11.0 (よくわかる簿記シリーズ) TAC簿記検定講座 TAC出版 1650 4813285643</p>
--

プリント資料及び参考文献

<p>毎回資料を講義連絡で提示し、それに基づいて講義を実施します。 教科書に指定した問題集は、講義の復習用を使用してください。</p> <p>講義の予習・復習をしたい場合には以下の参考書を活用してください。 参考文献：『合格テキスト 日商簿記3級 Ver. 11.0 (よくわかる簿記シリーズ)』 TAC出版 \ 2,200 注意：以前のバージョンでも可能ですが、なるべく最新版を入手してください。</p>

授業計画

<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義ガイダンス、複式簿記の意義 2. 簿記の仕組み 3. 仕訳と転記 4. 記帳ルールと帳簿 5. 簿記一巡の手続き 6. 現金と預金① 7. 現金と預金② 8. 商品売買① 9. 商品売買② 10. 商品売買③ 11. 売掛金と買掛金 12. 手形取引① 13. 手形取引② 14. その他の債券・債務 15. 固定資産① 16. 固定資産② 17. 有価証券 18. 貸倒損失と貸倒引当金 18. 純資産と税金 19. 収益と費用① 20. 収益と費用② 21. 収益と費用③ 22. 伝票 23. 決算手続き① 24. 決算手続き② 25. 決算手続き③ 26. 試算表 27. 財務諸表の作成① 28. 財務諸表の作成② 29. 財務諸表の作成③ 30. 復習とまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<p>ア：PBL（課題解決型学習）</p> <p>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</p> <p>ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p>エ：グループワーク</p> <p>オ：プレゼンテーション</p> <p>カ：実習、フィールドワーク</p>
--

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

<p>担当教員の指示に基づき、各回に配布された資料を確認しながら問題を解いてください。 復習用の問題を配付・問題集の範囲指定をしますので、問題を解いてください。（目安3-6時間）</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

<p></p>

実務経験の有無及び活用

<p></p>

備考

<p>授業計画は、学習の進み具合により多少変更が出る可能性があります。 課題は毎回出るわけではありません。必ず講義および講義資料で確認して期日までに提出してください。</p>
